

## 【1 分解説】iDeCo とは？

人財開発コンサルティング事業部 主任講師 平岡 一弘

iDeCo（イデコ）は個人型確定拠出年金の愛称です。iDeCo は自分で決めた掛金を拠出し、自分で運用方法を選んで運用します。その掛金と運用益の合計額をもとに原則 60 歳以降に受け取る私的年金制度です。掛金は 65 歳未満まで拠出可能です。

iDeCo には 3 つの税制優遇があります。

- ①掛金が全額所得控除、
- ②運用益が非課税で再投資可能、
- ③受け取るときは、年金で受け取る場合には公的年金等控除、一時金で受け取る場合には退職所得控除の対象、となります。

掛金を拠出できるのは、原則公的年金の被保険者で 65 歳未満の方になりますが、一定の条件があります。毎月の掛金額は加入区分などにより拠出限度額があり、その範囲内で月額 5,000 円以上、1,000 円単位で決められます。

メリットのある制度ですが、手続きが煩雑、原則 60 歳になるまで資産を引き出すことはできないといった制約もあり、2022 年 3 月末時点の加入者は 239 万人にとどまっています（公的年金加入者 6,725 万人）。

岸田政権の「資産所得倍増プラン」の 7 つの柱の第二が iDeCo 制度の改革です。認知度の向上や手続きの煩雑さの解消を進め、より容易にかつ幅広く活用できるようにし、老後に備える資産形成の一助にするとしています。また、拠出限度額、加入可能年齢の引上げについても 2024 年の公的年金財政検証時に検討する予定です。